

# 第82期 中間株主通信

2018年4月1日～2018年9月30日



Materials Mag!c

 日立金属株式会社

証券コード：5486

# トップメッセージ



## 勝てる事業体へ「変革」、 そして新しい目標に「挑戦」。 世界トップクラスの高機能材料会社の 実現をめざします。

平素は、株主の皆様には格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。  
第82期中間期の当社グループにおける業績及び今後の施策について、  
ご報告申し上げます。

2018年11月 代表執行役 執行役社長 平木 明敏

当中間期(第2四半期連結累計期間)における世界経済は、先進国を中心に緩やかに回復しました。米国では雇用環境が改善するとともに、個人消費や設備投資が増加し、景気の着実な回復が継続しました。欧州では生産の回復が減速するなど、景況感が鈍化傾向となりました。中国は消費に支えられ安定して推移したほか、他のアジア新興国経済も総じて緩やかな回復傾

向となりました。こうした中、我が国の経済は、当中間期後半に国内で発生した自然災害の影響がありましたが、世界経済の回復を受けて輸出や設備投資が増加するとともに、雇用・所得環境が改善し、景気は緩やかな回復基調となりました。

当社グループの関連業界をみますと、自動車は、国内の新車販売台数は小型乗用車の減少を普通乗用車

### 2018年度中間期 連結決算ハイライト

	当中間期	前年同期比
売上収益	5,190億円	+7.6%
調整後営業利益*	331億円	+9億円
営業利益	358億円	+90億円
親会社株主に帰属する四半期利益	281億円	+85億円

\*調整後営業利益:営業利益からその他の収益、その他の費用を除いた指標

や軽自動車がかバーし前年同期並みの水準を維持しました。米国では景気の回復が続いていることを背景に、商用車を中心に堅調に推移したほか、中国・欧州が増加したことから、全体としては前年同期と比較して増加しました。鉄鋼は、産業機械をはじめとする製造業部門を中心に需要が増加しました。住宅着工戸数は、国内では横ばい圏で推移しましたが、米国では増加しました。エレクトロニクス関連は、スマートフォンの出荷台数が減少傾向となりました。

### 当中間期の業績

当中間期における当社グループの業績は主力製品を中心に需要が増加したことに加え、原材料価格上昇(価格スライド制)の影響などにより、売上収益は前年同期に比べ7.6%増の5,190億円となりました。利益面では、積極的な投資に伴うコストの増加がありましたが、売上収益の増加に伴う利益の増加や原価低減活動の効果、課題事業の収益改善などがあり、前年同期と比べ調整後営業利益は9億円増の331億円となりま

した。また、営業利益は、2018年4月2日付で株式会社三徳を当社の連結子会社としたことにより発生した負ののれん発生益他58億円をその他の収益に計上したことなどにより、90億円増の358億円となりました。税引前四半期利益は前年同期比92億円増の372億円、親会社株主に帰属する四半期利益は前年同期比85億円増の281億円となりました。

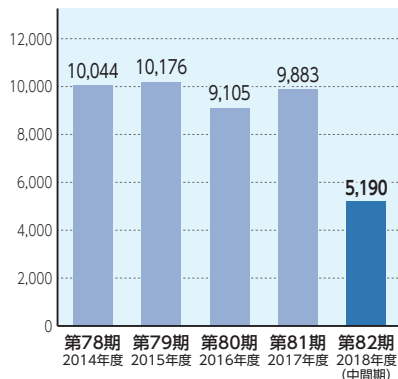
株主の皆様への中間配当については、前年度の中間配当に比べ4円増額し、1株につき17円とさせていただきます。

### 世界トップクラスの高機能材料会社の実現に向けて

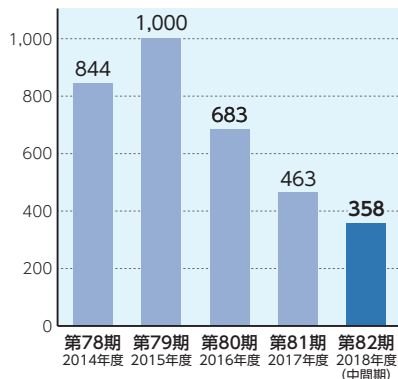
当社グループは、世界トップクラスの高機能材料会社の実現に向け、2018年度を最終年度とする「2018年度中期経営計画」に基づき、グローバル成長戦略の実行と経営基盤の強化により、持続的成長をめざしてまいります。

今後とも皆様の変わらぬご指導とご支援をお願い申し上げます。

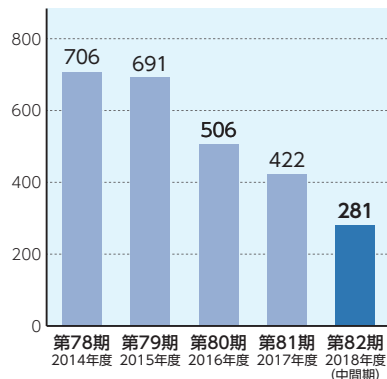
売上収益 (億円)



営業利益 (億円)



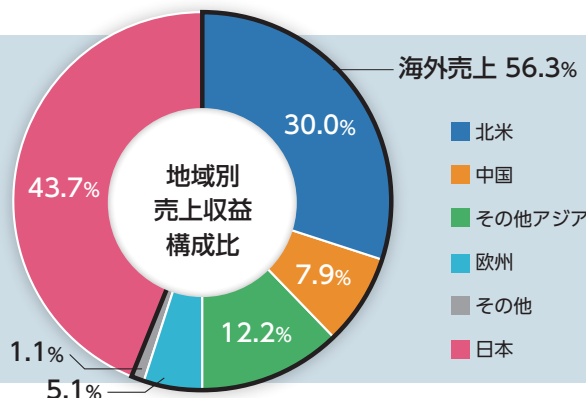
親会社株主に帰属する  
当期利益(四半期利益) (億円)



# セグメント別業績概要

## 需要動向

- 世界経済  
先進国を中心に緩やかに回復しました。
- 国内経済  
世界経済の回復を受けて輸出や設備投資が増加するとともに、雇用・所得環境が改善し、景気は緩やかな回復基調となりました。



## 特殊鋼製品



冷間ダイス鋼SLD-MAGIC®

売上収益 前年同期比 **1,543**億円 **9.4%**増

調整後営業利益 前年同期比 **155**億円 **20**億円増

営業利益 前年同期比 **148**億円 **16**億円増

- 特殊鋼  
工具鋼：国内向けを中心に堅調となり、前年同期を上回りました。  
産業機器材料：自動車関連の環境親和製品が増加し、前年同期を上回りました。  
電子材料：電池用材料や有機ELパネル関連部材が増加したことに加え、半導体パッケージ材料も高水準となった結果、前年同期を上回りました。  
航空機・エネルギー関連材料：エネルギー関連材料は低調でしたが、航空機関連材料が増加したことにより、全体としては前年同期を上回りました。
- ロール  
各種ロールについては、国内向け、輸出ともに好調でした。射出成形機用部品は、設備投資需要が高水準で推移したことにより、増加しました。この結果、ロール全体としては前年同期と比べて増加しました。
- 軟質磁性部材  
アモルファス金属材料は回復が見られ、応用品は自動車向け需要の増加により堅調となりました。この結果、軟質磁性材料及びその応用品全体としては前年同期を上回りました。

## 磁性材料



Nd-Fe-B系焼結磁石NEOMAX®

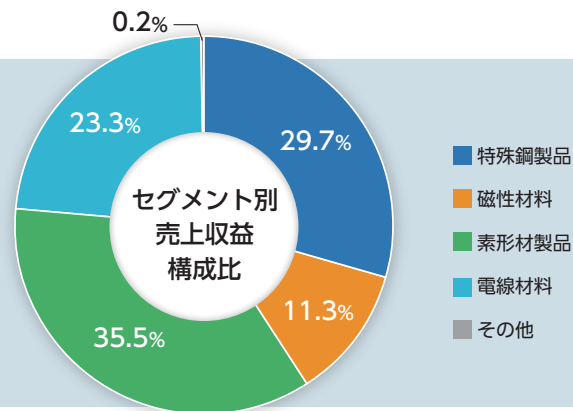
売上収益 前年同期比 **584**億円 **12.1%**増

調整後営業利益 前年同期比 **29**億円 **20**億円減

営業利益 前年同期比 **85**億円 **37**億円増

- マグネット  
希土類磁石：電動パワーステアリングやハイブリッド自動車・電気自動車などの自動車用電装部品が堅調に推移しました。また、産業機器関連は、半導体関連などの設備投資需要が減少したため、前年同期並みとなりました。この結果、希土類磁石全体としては、株式会社三徳を連結子会社化した効果も加わり、前年同期を上回りました。  
フェライト磁石：家電用部品が減少しましたが、自動車用電装部品は自動車生産の伸びに伴い好調に推移し、前年同期を上回りました。

- 自動車  
国内の新車販売台数は小型乗用車の減少を普通乗用車や軽自動車カバーし前年同期並みの水準を維持しました。米国では景気の回復が続いていることを背景に、商用車を中心に堅調に推移したほか、中国・欧州が増加したことから、全体としては前年同期と比較して増加しました。
- 産業インフラ関連  
鉄鋼は、産業機械をはじめとする製造業部門を中心に需要が増加しました。住宅着工戸数は、国内では横ばい圏で推移しましたが、米国では増加しました。
- エレクトロニクス関連  
スマートフォンの出荷台数が減少傾向となりました。



## 素形材製品



高靱性ダクタイル鋳鉄製品HNM®・NMS®

売上収益 前年同期比 **1,844**億円 **3.4%**増

調整後営業利益 前年同期比 **69**億円 **7**億円増

営業利益 前年同期比 **49**億円 **6**億円減

- 自動車用鋳物  
自動車用鋳物：北米では、商用車や農業機械・建設機械向けが伸長しました。また、アジアでも自動車需要の増加に伴い堅調となりました。この結果、自動車用鋳物全体としては前年同期と比較して増加しました。

耐熱鋳造部品・アルミホイール：課題事業と位置付け、収益改善を目的に生産性改善活動や販売価格の是正、生産数量の適正化などの事業構造改革に取り組んでおります。この結果、課題事業全体としては、売上収益は前年同期と比べて減少しましたが、利益面では前年同期と比べ改善しました。

- 配管機器  
継手類は、国内は価格改定の影響や今夏の猛暑による設備投資需要の減少がありましたが、米国における住宅着工戸数の増加などにより、継手類全体としては前年同期並みとなりました。半導体製造装置用機器は、一部の設備投資案件の延伸により、前年同期と比較して減少しました。この結果、配管機器全体としては前年同期を下回りました。

## 電線材料



鉄道車両用電線・ケーブル

売上収益 前年同期比 **1,210**億円 **9.5%**増

調整後営業利益 前年同期比 **72**億円 **3**億円増

営業利益 前年同期比 **69**億円 **41**億円増

- 電線  
鉄道車両用電線が中国向けを中心に大きく伸長しました。また、FA・ロボット用電線が増加したほか、巻線も自動車向けを中心に堅調となりました。この結果、電線全体としては前年同期と比べて増加しました。

- 機能品  
自動車用電装部品が各種センサや、電動パーキングブレーキ及びハイブリッド自動車向けのハーネスが増加し、ブレーキホースも堅調となりました。医療向けは、プローブケーブル、チューブとも堅調な需要に支えられ、前年同期を上回りました。この結果、機能品全体としては前年同期と比べて増加しました。

\* 地域別売上収益構成比及びセグメント別売上収益構成比は、外部顧客への売上収益を基に算定しています。

\* 各セグメントの売上収益は、セグメント間の内部売上収益を含んでおります。

# トピックス：Hitachi Metals Today

## 「2018年度中期経営計画」 最終年度の取り組み

当社は、「2018年度中期経営計画」の最終年度である本年度の重点課題の一つとして、2017年度までに実行した投資の「早期立ち上げ及び効果の刈り取り」を掲げて取り組んでおります。本年度に立ち上げた設備投資の一部をご紹介します。

### ●1万トン級自由鍛造プレス(安来工場)

当社の特殊鋼事業は、工具鋼、産業機器材料、電子材料に加え、航空機・エネルギー関連材料における成長戦略を展開し、グローバル市場での成長をめざしています。その一環として、当社は安来工場において、24トン真空誘導溶解炉をはじめ、1万トン級自由鍛造プレス、高速4面鍛造機などの大型投資を実行し、特殊鋼事業のさらなる強化を進めています。こうした中、1万トン級自由鍛造プレスの設備導入が完了し、5月から本格的に稼働しました。これにより、大型化が進む熱間工具鋼の製品性能と生産性の向上及び航空機・エネルギー関連材料事業のさらなる強化を図ります。

### ●新連続鋳造圧延ライン(茨城工場)

電線材料における導体は、すべての電線を構成する基本となる材料であり、導体製造設備は最重要設備です。当社は合金添加などに独自技術を導入するとともに、エネルギー効率・生産性の大幅な改善を目的として、新連続鋳造圧延ラインを導入しました。この特長は①ラインの小型高効率化、②HiFC®の安定量産化、③IoTによる品質の制御です。特に当社独自開発の新銅合金であるHiFC®はEV用モーターのマグネットワイヤに適用することでモーターの高効率化、小型化などに貢献します。



1万トン級自由鍛造プレス

### HiFC®とは・・・



銅に極微量のチタンを添加することで、高純度銅6N(純度約99.9999%)相当の軟化特性などを有する新銅合金です。

## ESG投資指数への組み入れ状況

当社は、世界の代表的な社会的責任投資指標である「FTSE4Good Index Series」や、GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)の選定する以下のESG投資指数に組み入れられました。

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| ・FTSE Blossom Japan Index | ・MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数 |
| ・MSCI日本株女性活躍指数(WIN)       | ・S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数  |

# 会社の概況等

## 会社の概況 (2018年9月30日現在)

- 商号……………日立金属株式会社  
(証券コード:5486)
- 設立年月日……………1956年4月10日
- 資本金……………26,284百万円

## 役員 (2018年10月1日現在)

### ●取締役

取締役会長	西野 壽一
取締役	五十嵐 将
取締役	岡 俊子
取締役	島田 隆
取締役	佐坂 克郎
取締役	中村 豊明
取締役	蓮沼 利建
取締役	平木 明敏

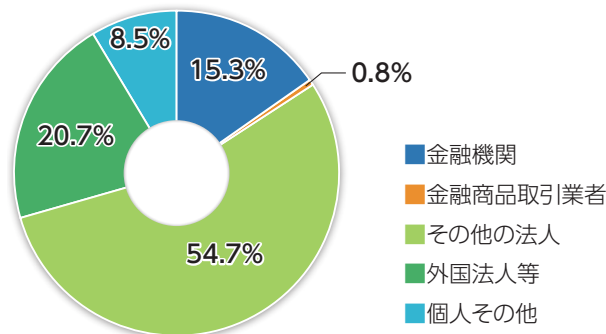
(注) 五十嵐将、岡俊子及び島田隆の3氏は、社外取締役であります。

### ●執行役

代表執行役 執行役社長	平木 明敏
代表執行役 執行役専務	西家 憲一
代表執行役 執行役常務	西岡 宏明
執行役常務	佐藤 光司
執行役常務	田宮 直彦
執行役	赤田 良治
執行役	植村 典夫
執行役	大塚 眞弘
執行役	正路 英一郎
執行役	諏訪部 繁和
執行役	長谷川 正人
執行役	波多野 知行
執行役	平野 健治
執行役	村上 和也
執行役	渡邊 洋

(注) 平木明敏は、取締役を兼務しております。

## 所有者別株式分布状況 (2018年9月30日現在)



## 株式の状況 (2018年9月30日現在)

- 発行済株式の総数…………… 428,904千株
- 株主数…………… 29,547名
- 大株主

株主名	所有株式数 (千株)	所有比率 (%)
株式会社日立製作所	226,233	52.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	16,771	3.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	14,214	3.3
ジェービー モルガン チェース バンク 385632	10,950	2.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	4,152	1.0
ジェービーエムシービー オムニバス ユーエス ペンション トリーティー ジャスデック 380052	4,003	0.9
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	3,894	0.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	3,578	0.8
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	3,309	0.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	3,038	0.7

(注) 所有比率は、自己株式(1,333,471株)を控除して計算しております。

# 株主メモ

- 事業年度…………… 毎年4月1日から翌年3月末日まで
- 配当金受領株主確定日…………… 毎年3月末日及び9月末日
- 定時株主総会の基準日…………… 毎年3月末日
- 公告方法…………… 電子公告 (<http://www.hitachi-metals.co.jp/koukoku/index.html>)  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 単元株式数…………… 100株
- 株主名簿管理人及び…………… 東京証券代行株式会社
- 特別口座の口座管理機関…………… 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地(NMF竹橋ビル6階)  
[郵便物送付先・連絡先]  
〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
東京証券代行株式会社 事務センター  
電話 0120-49-7009(フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国本支店で行っております。

## ●住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

## ●未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

## 日立金属株式会社

〒108-8224 東京都港区港南一丁目2番70号  
<https://www.hitachi-metals.co.jp/>

株主通信に関するお問い合わせ先  
法務本部 電話 (03) 6774-3065



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。